



Vol.03

環境品質

イーテック防水総合カタログ



株式会社 **イーテック**



私たちイーテックは、 時代が求める「環境品質」を提供します。

「より快適な社会環境づくり」には、「安全」「無公害」というキーワードが欠かせません。

イーテックの防水製品は、防水性能はもとより、安全性に優れて扱いやすい

『環境品質』をご提供します。イーテックの得意分野であるラテックス、エマルジョンの
水系コンパウンド技術・重合技術を基にした最新技術の結晶を、ぜひお役立てください。

安全性

イーテック製品の最大の特長は、火や溶剤を使わない水系（エマルジョン）のため、煙や臭いが発生せず、作業時の火災や中毒の心配もないことです。独自の技術を展開し、より安全で扱いやすい防水材料を、業界に先駆けて開発しています。

防水性

イーテック製品はすべて、優れた防水性能を発揮すべく設計されています。常に技術開発を重視し、さまざまな用途や適用部位で使われる製品群を生み出してきた幅広いノウハウと30年以上の施工実績が、その信頼性をしっかりと支えています。

イーテック 製品の特長

環境への優しさ

環境への配慮が厳しく求められる昨今、イーテック製品はエコロジーの発想で環境に配慮した製品を提供しています。火をいしませんから温室効果ガスの削減が図られ、また臭気の発生も少なく、現場環境、近隣環境の負荷低減につながります。

一貫した 技術と生産体制

1963年の創業以来、技術開発重視の姿勢を貫いてきたイーテック。改質アスファルトの乳化技術やアクリルの重合・コンパウンド技術といった独自技術を基に、原料・製品・工法の研究開発から生産まで、一貫した生産体制で信頼性の高い製品をご提供しています。

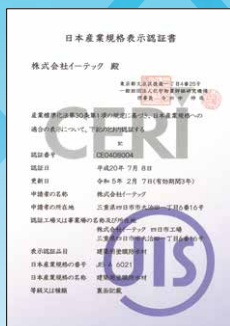
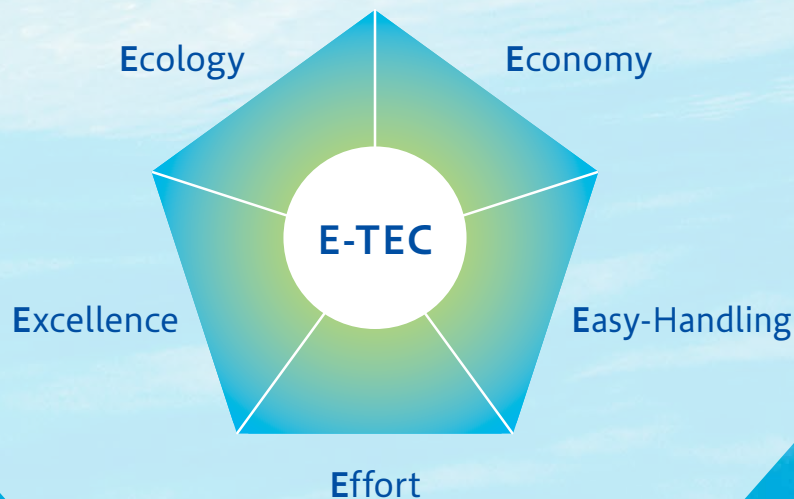
会社概要

会 社 名 株式会社イーテック
(英文社名／Emulsion Technology Co., Ltd)
設 立 1963(昭和38)年10月19日
資 本 金 1億6,800万円
株 主 株式会社日本触媒(100%)

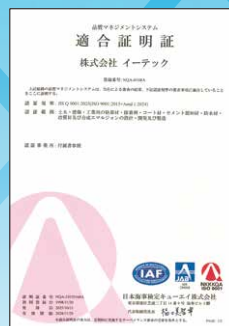
本 社 四日市、東京
事 務 所 大阪
工 場 四日市
事業内容 建築用材料、土木用材料、産業資材用材料、
アクリルエマルジョン等の製造・販売

商品設計理念「5つのE」

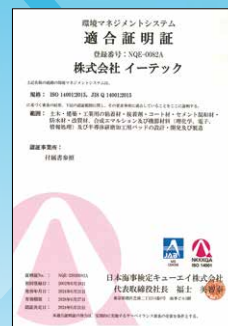
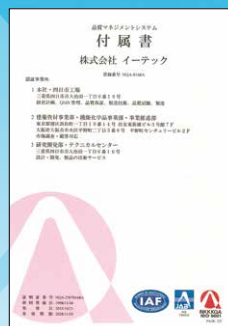
私たちイーテックは「高い技術力と柔軟な発想」「頼もしい行動力と自在の応用力」といった強くしなやかな企業力で、より豊かな人間環境の基礎固めに取り組んでいます。特に商品設計では、Ecology(環境に優しく)、Easy-Handling(作業性の良い)、Economy(価値のある)、Excellence(優れた品質の)、Effort(社会に貢献する)という5つのEを理念とし、高性能、使いやすさ、社会・環境への配慮を満たす新製品を開発しています。すべては人と社会の豊かな未来のために。私たちイーテックは挑戦を続けます。



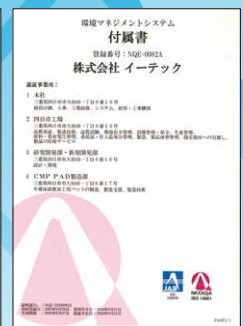
日本産業規格表示
株式会社イーテック四日市工場



ISO9001：2015+Amd 1:2024適合証明証・付属書
株式会社イーテック本社



ISO14001：2015適合証明証・付属書
株式会社イーテック四日市工場



イーテックの防水は、
社会の様々なシーンで、
シビアな要求にお応えしています。



グラントウキョウノースタワー

たとえば、このような場所でお役に立っています。

煙や臭いは 絶対に許されない

医療・研究施設、
住宅密集地のマンション、etc.

清潔かつ安全であるべき施設の施工に
際し、煙や臭い対策にお悩みでは？イー
テックの防水製品なら低臭・無煙ですから、
その時間やコストを削減できます。



万一にも火災や事故は 起こせない

工場・プラント等の生産施設、
エネルギー関連施設、データセンター、etc.

火や溶剤を使う現場作業では、常に火災
や事故の危険があります。イーテック製品
は水系の材料ですから、そういった不安
もありません。



施工条件が厳しく、工期が 天候などに左右される

高層ビルの屋上・外壁、地下深くの工事現場、
各種水槽、タンク、etc.

有毒ガスなどを出さず、硬化速度が調整
できて扱いやすいイーテック製品は、作業
の効率化にも貢献します。



あいち健康の森
写真提供：スタジオさわか

公害対策など、環境配慮への 要求が非常に高い

官公庁、学校、
美術館などの公共施設、etc.

こういった現場にこそ『環境品質』を誇る
イーテック製品をお使いください。施主様
や設計者様、工事責任者様の高い要求を
満たします。



近年の建築、土木技術はますます多様化し、その
施工現場は超高層から大深度に至ります。

このような建造物の機能性と耐久性を維持する
ために重要となるのが、防水機能です。

イーテックは「高性能と無公害」をテーマに、
使い易く、優れた塗膜性能をそなえた防水材を
数多く開発し、様々な現場でご活用いただいています。

左：東京スカイツリー／中：JPタワー／右：渋谷ヒカリエ
右下：東京駅



施工実績

クレストフォルム芝タワー、調布駅南口第一地区再開発、日本興亜日本橋ビル、モード学園コクータワー、日本橋室町野村ビル、勝どき一丁目地区プロジェクト、川崎市立井田病院、麹町二丁目ビル、丸の内1-4計画、渋谷ヒカリエ、帝京大学板橋キャンパス、中央区立中央小学校、イオンモールつくばショッピングセンター、新歌舞伎座建替工事、東京大学（本郷）総合研究棟、ららぽーとTOKYO-BAY西館、MM21 - 46街区、上尾中央総合病院B館、日本生命大手町ビル、三井アウトレットパーク木更津、厚木市立病院、株式会社ロッテ浦和工場第6工場建設、西富久地区市街地再開発事業、名駅三丁目27番地区開発計画、東京都中央卸売市場大田市場、六本木三丁目東地区再開発、日本大学新学部校舎、さいたま赤十字病院、TGMM芝浦プロジェクト、早稲田大学新記念会堂、東京音楽大学、住友不動産渋谷タワー、日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発事業、南平台プロジェクト、三越日本橋本店、虎ノ門2-10計画、新国立競技場、道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事、神奈川県立体育センター、竹芝ウォーターフロント開発計画、恵比須町倉庫再開発第二期工事、有明ガーデン、新元朝霞事業所新築工事、川崎駅西口開発計画新築工事、フジフーズ株式会社 船橋工場

高層ビルの屋上から
地下構築物まで
あらゆるニーズに適合した
防水材があります。

屋根

ハルエコート

速硬化ハルエースコートONE

屋根(改修)

ハルスターコート

窓枠サッシ廻り

AEコート

トレンチピット

AEコート

地下外壁(先やり)

スプレイジョンS

地下外壁(後やり)

スプレイジョンS

速硬化ハルエースコートONE

駐車場(保護)

ハルエコート

速硬化ハルエースコートONE

水槽

AEコート

施工部位別適用表

		製品名	ハルエコート 講習会制度専用				速硬化ハルエースコートONE			
		防水仕様	改質(ゴム)アスファルト系複合防水				改質(ゴム)アスファルト系塗膜防水			
施工部位		工法	E-30C(A-1, 2, 3)	E-30D(AI-1, 2, 3)	E-30(E-1, 2)	EZ-30, EZ-20S	ONE-25	ONE-40	ONEZ-40	ONE-20, ONE-61
		下地	密着	密着断熱	密着	絶縁	密着	密着	絶縁	後やり
外部	屋根	RC	露出	立上りのみ	立上りのみ	○	立上りのみ	立上りのみ	○	
			押え	○	○		○	○		
		デッキ	露出	立上りのみ	立上りのみ	○	立上りのみ	立上りのみ	○	
			押え	○	○		○	○		
		ALC	露出			○			○	
		改修(下地熱アス)	露出	※		○	※	※	○	
内部	ベランダ	RC	露出							
			押え	○	○		○	○		
	浴室	RC	押え		○		○	○		
	浴槽	RC	押え		○		※	○		
	トイレ	RC	押え		○		○	○		
	厨房	RC	押え		○		○	○		
	OAフロア	RC	露出							
	駐車場	RC	押え		○		○	○		
地下	水槽・ピット	RC	露出							
			押え		○		○	○		
	外壁後やり	RC	-							○
		山留め	-							※
備考			熱アスファルト A-1, 2, 3同等	熱アスファルト AI-1, 2, 3同等	熱アスファルト E-1, 2同等		公共建築工事 標準仕様Y-2適合		公共建築工事 標準仕様Y-1適合 (T-61)	

ハルeコート

改質アスファルト系複合防水

講習会制度専用

P.7

JISA6021に適合した塗膜防水と信頼性の高いシート防水を併用した複合防水で、シームレスで柔軟かつ強靱な防水層を形成します。また、建築技術審査証明事業より、熱アスファルト防水と同等証明を取得している防水材です。

速硬化ハルエースコートONE

改質アスファルト系塗膜防水

P.9

JISA6021に適合した塗膜防水で、公共建築工事標準仕様(Y-1・Y-2)やJASS8(L-GI・L-GU)にも適合した信頼性のある施工実績も豊富な防水材です。

スプレイジョンS

地下防水 | 吹き付けタイプ

P.10

JISA6021に適合した塗膜防水で、公共建築工事標準仕様(Y-1)やJASS8(L-GU)に適合。吹付け・塗布それぞれに対応する作業性の高さが特徴で、地下防水の先やり・後やり工法に適した防水材です。

公共建築工事標準仕様(Y仕様)

Y-1、Y-2

P.11

JISA6021に適合した塗膜または吹付防水で、公共建築工事標準仕様に適合しております。高固形分のゴムアスファルトの為、使用量の削減が図れる防水材です。

ハルスターコート

ゴムアスファルト系塗膜防水(屋上改修工事に)

P.12

既存防水層に直接密着させて施工が出来るオーバーレイ工法に適した防水材料です。騒音・振動の発生が少なく、嫌な臭気を発生させない環境配慮型の塗膜防水材です。

AEコート

ポリマーセメント系塗膜防水

P.13

特殊アクリルエマルジョンと水硬性特殊粉体との組み合わせによるポリマーセメント系塗膜防水材です。特殊アクリルエマルジョンを使用することにより、耐水性・耐候性・耐アルカリ性に優れた防水層を形成し、水槽で使う際など保護が不要です。

材料一覧表 P.14

スプレイジョンS		ハルスターコート		AEコート			
改質(ゴム)アスファルト系吹付け防水		改質(ゴム)アスファルト系塗膜防水		ポリマーセメント系塗膜防水			
SPS-A20、SPS-A40	SPS-S20、SPS-S40	RS-30	RZ-30	AE-P20	AE-P25	AE-P30	AE-P22
後やり	先やり	密着	絶縁	密着	密着	密着	密着
			○				
			○				
			○				
		○	○	○	○	○	
						○	
				○		○	
							○
○							※
	○						○
公共建築工事標準仕様Y-1適合 (SPS-A40)		屋上露出専用仕様	屋上露出専用仕様	ポリマーセメント系塗膜防水 工事指針(案)PA-1適合	ポリマーセメント系塗膜防水 工事指針(案)PA-2適合	ポリマーセメント系塗膜防水 工事指針(案)PA-3適合 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事 JASS8 C-PF適合	ポリマーセメント系塗膜防水 工事指針(案)PB-1適合 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事 JASS8 C-PU適合

ハルeコート

改質アスファルト系複合防水

JISA6021に適合した塗膜防水と信頼性の高いシート防水を併用した複合防水で、シームレスで柔軟かつ強靱な防水層を形成します。また、建築技術審査証明事業より、熱アスファルト防水と同等証明を取得している防水材です。



ハルeコートの特長

1 柔軟で強靱な防水層を形成します。

JIS A6021ゴムアスファルト系に適合した塗膜防水材とシートの複合により、塗膜の柔軟性と、シートの強靱性をバランス良く兼ね備えています。

2 水系なので、人・環境にやさしい工法です。

完全冷工法で施工できる改質アスファルト防水材ですから、煙や毒性はなく、臭いも気になりません。

3 反応硬化なので、次工程にすぐ移れます。

ハルeコート複合防水は、『反応硬化』を利用した塗膜防水材とシートの積層工法のため、工程数が少なく、工期の短縮が図れます。

4 屋上・室内・地下をとわず施工が可能です。

屋上などの屋外はもちろんのこと、優れた安全性により、密閉環境条件下や複雑な納まり部でも施工が可能です。



建築技術審査証明事業に熱アスファルトと同等である証明を頂きました。

技術審査証明とは

この審査証明事業は、建築の施工及び既存の建築物等の維持保全に関し、民間で開発された様々な新しい技術について審査・証明を行うことにより、民間における研究開発の促進とそれらの新技術を、建設事業に適応かつ迅速に導入することを図り、建設技術の水準の向上に寄与しようとする目的で実施するものです。

このたび、環境配慮型改質アスファルト防水常温工法「ハルeコート複合防水」に関し、「建築技術審査証明事業（建築技術）」への審査証明の依頼があり、対象技術に関し、専門知識を有する学識経験者等からなる『建築技術（各種技術）審査委員会』（委員長 橋高義典 東京都立大学名誉教授）、『ハルeコート複合防水専門委員会』（委員長 興石直幸 早稲田大学理工学術院教授）を設置し、審査証明を行いました。

一般財団法人 日本建築センター

ハルeコート複合防水の仕様記号	公共建築工事標準仕様書または公共建築改修工事標準仕様書 平成31年度版防水工事 アスファルト防水、トーチ工法の対応する種別
E-30C	屋根保護防水密着工法 A-1、A-2、A-3
E-30D	屋根保護防水密着断熱工法 AI-1、AI-2、AI-3
EZ-30C	屋根保護防水絶縁工法 B-1、B-2、B-3
EZ-30D	屋根保護防水絶縁断熱工法 BI-1、BI-2、BI-3
E-30TS、E-20S	屋根露出防水密着工法 C-1*、C-2*、C-3*、C-4*、AS-T1、AS-T2
EZ-30、EZ-20S	屋根露出防水絶縁工法 D-1、D-2、D-3、D-4、AS-T3、AS-T4
EZ-30(DI)、EZ-20S(DI)	屋根露出防水絶縁断熱工法 DI-1、DI-2、ASI-T1
E-30	屋内防水密着工法 E-1、E-2

※C-1、C-2、C-3、C-4は公共建築改修工事標準仕様書記載の工法

※EZ-30(DI)、EZ-20S(DI)はJIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材3種1号に適合した断熱材をご使用ください。

施工手順例(E-30C(A-1))



プライマー塗布



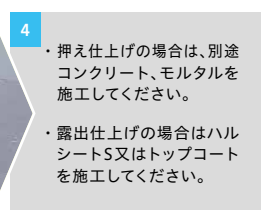
ハルeコート／
ハルeシート200張付け



ハルeコート／
ハルeシート流し張り



ハルeコート塗布



保護層を設置

- ・押え上げの場合は、別途コンクリート、モルタルを施工してください。
- ・露出仕上げの場合はハルシートS又はトップコートを施工してください。

工法例

密着工法

工程	工程1	(補強処理)	工程2	工程3	保護層
E-30C(A-1)	プライマー	ハルコート/ ハルシート200	ハルコート/ ハルシート	ハルコート	保護層 (別途)
	0.2kg/m ²	1.5kg/m ² —	1.5kg/m ² —	1.5kg/m ²	
工程	工程1	(補強処理)	工程2	工程3	保護層
E-30(E-1)	プライマー	ハルコート/ ハルシート200	ハルコート/ ハルシート	ハルコート	保護層 (別途)
	0.2kg/m ²	1.5kg/m ² —	1.5kg/m ² —	1.5kg/m ²	

絶縁工法

工程	工程1	工程2	工程3	工程4
EZ-30	プライマー	ハルシートZ	ハルコート／ハルシート	ハルコート
	0.2kg／㎡	－	1.5kg／㎡ －	1.5kg／㎡

↓

工程5
トップコート仕上げ EZ-30AT、EZ-30ATS、EZ-30ATV、EZ-30TS、EZ-30T
※塗布量はP.12 仕上げ塗料参照

↓

工程5
ハルシートS EZ-30S
－

↓

保護層	
絶縁用シート	保護 コンクリート
別途工事	

※下地・施工環境により、プライマーを選定しご使用ください。
 ※ハルシート、ハルシートZの重ね幅は100mm以上としてください。
 ※補強処理はハルシート200を使用してください。
 ※補強処理を行わない場合はE-30C(A-2,3)、E-30(E-2)工法となります。
 ※納まりが複雑な箇所はハルシートの代わりにメンブロンクロスをご使用ください。

※ハルシートZ端部は立上りから120mm程度控えてください。
 ※ハルシートZの幅方向は突付けとし、ハル粘着テープで処理してください。
 ※露出仕上げはハルシートS又はトップコート(2回塗布)を施工してください。
 ※ハルシートSは端部を金物で固定してください。

露出仕様

		工程1	(補強)	工程2	工程3
E-20S (D-1)	平場	プライマー (シェイプメント)	－	ハルコート ハルシートNR	トップコート
		0.2kg/㎡ (2.0kg/㎡)	－	1.5kg/㎡ －	－
	立上り	プライマー (シェイプメント)	ハルコート ハルシート200	ハルコート ハルシートNR	トップコート
		0.2kg/㎡ (2.0kg/㎡)	1.5kg/㎡ －	1.5kg/㎡ －	－

		工程1	(補強)	工程2	工程3	工程4
EZ-20S (D-1)	平場	プライマー	－	ハルシートZ	ハルコート ハルシートNR	トップコート
		0.2kg/㎡	－	1.5kg/㎡	1.5kg/㎡ －	－
	立上り	プライマー	ハルコート ハルシート200	ハルコート ハルシートNR	トップコート	－
		0.2kg/㎡	1.5kg/㎡ －	1.5kg/㎡ －	－	－

※ハルシートNR、ハルシートの重ね幅は100mm以上としてください。
 ※下地調整が必要な場合はシェイプメントをご使用ください。
 ※補強処理は必要に応じて実施してください。
 ※ハルシートZ端部は立上りから離して貼り付けてください。
 ※ハルシートZの幅方向は突付けとし、ハル粘着テープで処理してください。
 ※EZ-20Sの場合は脱気装置を25～100㎡に1個設置してください。
 ※立上り端部は金物で押さえてください。

※立上り端部はアゴ下から20mm程度控えてください。
 ※立上りはハルコートE-30仕様(ハルコート/ハルシート/ハルコート)を施工することも出来ます。
 ※平場を先行し、後に立上りを施工することも出来ます。
 ※平場のハルシートNR端部は立上りから20mm程度控えてください。
 ※下地の形状によってはハルコートの塗布量が増加することがあります。
 ※トップコートは色むらを避けるために2回塗りしてください。

速硬化ハルエースコートONE

改質アスファルト系塗膜防水

硬化スピードをアップさせ工期短縮を可能としました。
JISA6021に適合した塗膜防水で、公共建築工事標準仕様(Y-1・Y-2)や
JASS8(L-GI・L-GU)にも適合した信頼性のある施工実績も豊富な防水材です。



速硬化ハルエースコートONEの特長

1 硬化スピードをさらにアップさせ工期短縮を可能としました。

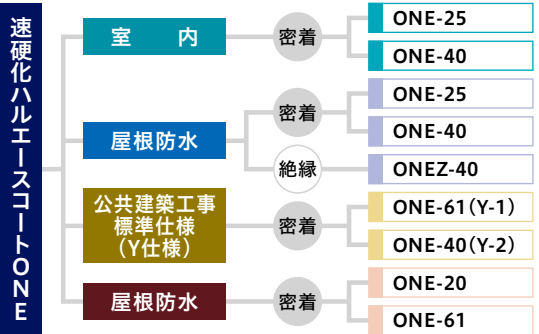
規模に応じて1日で上塗りまで施工可能*

工程	概要	1日	2日	3日	4日	5日
速硬化ハルエースコートONE ONE-40工法	施工:1日 養生:1日	プライマー 養生	工程② 工程③	養生	水張り 試験	
改質(ゴム)アスファルト系塗膜防水(従来品)	施工:2日 養生:2日	プライマー 養生	工程②	工程③	養生	養生 水張り 試験
熱アスファルト防水	施工:2日 養生:0日	プライマー 養生	工程②	工程③	工程④	工程⑤ 工程⑥ 工程⑦ 水張り 試験

*面積や作業人員、施工環境により異なります。

2 安全性を高めた、臭気の少ないエマルジョン防水工法です。

当社の永年のゴムアスファルト技術を活かした、環境にやさしいエマルジョン系の塗膜防水工法です。
完全冷工法で施工できる改質(ゴム)アスファルト防水材のため、臭気はもちろん、煙や火災の心配がありません。



公共建築工事標準仕様書Y-1・Y-2適合
JASS 8 L-GI・L-GU適合

3 室内押さえ・地下外壁の用途に特に威力を発揮します。

短い工期や高い安全性により、これまでは施工が困難だった場所の防水工事に強みを発揮します。
特に、狭い・複雑・密閉された空間といった環境条件をもつ、室内・地下外壁の用途に特に威力を発揮します。

4 確かな信頼性。

速硬化ハルエースコートONEは、JISA 6021を取得しており、公共建築工事標準仕様(Y-1・Y-2仕様)として適合します。

工法例

密着工法

工程	工程1	工程2	工程3	保護層	
ONE-40	プライマー	速硬化ハルエースコートONE/ ハルPCマット	速硬化ハルエースコートONE	絶縁用 シート	保護 コンクリート
	0.2kg/㎡	2.0kg/㎡ —	1.3kg/㎡	別途工事	

※改修工事の場合で、既存防水下地への施工を行う場合はトップコート仕上げも可能です。

絶縁工法

工程	工程1	工程2	工程3	工程4
ONEZ-40	平場	プライマー	ハルシートZ	速硬化ハルエースコートONE/ ハルPCマット
		0.2kg/㎡	—	2.0kg/㎡ —
	立上り	プライマー	速硬化ハルエースコートONE/ ハルPCマット	速硬化ハルエースコートONE
		0.2kg/㎡	2.0kg/㎡ —	1.3 kg/㎡

工程5
トップコート仕上げ
※塗布量はP.12 仕上げ塗料参照

工程5
ハルシートS
—

保護層	
絶縁用シート	保護コンクリート
別途工事	

※下地・施工環境により、プライマーを選定しご使用ください。
※メンブロンクロス、ハルPCマットの重ね幅は50mm以上としてください。
※ハルシートZの重ね幅は100mm以上としてください
※ハルシートZの端部・突付け部には、ハル粘着テープで処理してください。

※出入隅・打ち継ぎ部には必要に応じて補強処理を行ってください。
※納まりが複雑な場合はハルPCマットの代わりにメンブロンクロスをご使用ください。
※トップコート仕上げの場合は、上塗り速硬化ハルエースコートONEの十分な施工後に2回塗りしてください。
※ハルシートSの重ね幅は100mm以上とし、ハルシートSは端部を金物で固定してください。

スプレイジョンS

地下防水 | 吹き付けタイプ

JISA6021に適合した塗膜防水で、公共建築工事標準仕様(Y-1)やJASS8(L-GU)に適合。吹付け・塗布それぞれに対応する作業性の高さが特徴で、地下防水の先やり・後やり工法に適した防水材です。



スプレイジョンSの特長

1 公的仕様

スプレイジョンSは、JIS A6021に適合しており、建築工事標準仕様(Y仕様)JASS8(L-GU)として確かな信頼性があります。

2 施工システム

小型ポンプの為、移動が簡単で手塗りとの併用も可能です。また、後やり防水・先やり防水のどちらにも施工を行えます。

3 安全性

臭気が殆ど無く、また、現場における煙やCO₂の排出もありませんので、作業環境・周辺環境の保全を可能とします。

4 品質

ゴムアスファルト系塗膜の特長である柔軟な防水層を形成します。

[地下防水の決定版] スプレイジョンS = 信頼性 × 実績

スプレイジョンS工法の仕組み

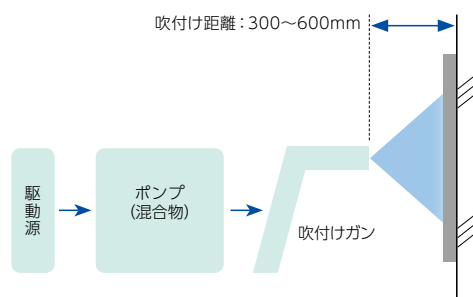
ポンプ仕様

内 容	能 力
最高使用圧力	22.7MPa
重量	55kg
駆動源	電気 100V、20A
通常使用圧力	15~18MPa
最大吐出量*	2.0kg/分

※混合物を吹き付ける場合(23℃)。

※スプレイジョンS工法は、カップガンによる吹き付け施工やコテ等による手塗り施工も可能です。

※電圧及び電流が不安定な場合、安定した吹付けが出来ない場合があります。



工法例

吹付けタイプ…独自の吹付けシステム(小型機械)

後やり防水 下地コンクリートと、高い密着性が得られます。(JIS A6021適合)

工程	工程1	工程2	保護層(別途工事)
SPS-A40	プライマー	スプレイジョンS	ハイクックG/ SPプロテクター
	0.2kg/m ²	5.2kg/m ²	0.2kg/m ² —

※SPS-A20工法もあります。

※塗布(手塗り)も可能です。

※下地・施工環境等により、プライマーを変更し下地処理を行ってください。

先やり防水 後打ちコンクリートに直に完全接着し、躯体面への水廻りを防ぎます。

工程	工程1	工程2
SPS-S40	SPベースシート	スプレイジョンS
	—	5.2kg/m ²

※SPS-S20工法もあります。

※湧水の激しい箇所は別途導水処理を行ってください。

※セパレーターはねじ込み式セバ受け金具を推奨いたします。

※SPベースシートのジョイントは、合成ゴム系接着剤又はジョイントテープで処理(接着)を行ってください。

公共建築工事標準仕様（Y仕様）

Y-1、Y-2

JISA6021に適合した塗膜または吹付防水で、公共建築工事標準仕様に適合しております。高固形分のゴムアスファルトの為、使用量の削減が図れる防水材です。

<適合官公庁>

国土交通省・文部科学省・防衛省
東京都・埼玉県・愛知県・三重県 他

Y-1

工程	工程1	工程2	工程3	工程4	工程5
標準仕様	プライマー	ゴムアスファルト防水材 吹付け又は塗り	ゴムアスファルト防水材 吹付け又は塗り	ゴムアスファルト防水材 吹付け又は塗り	保護緩衝材
	0.2kg/㎡	2.5kg/㎡	2.5kg/㎡	2.0kg/㎡	

工程	工程1	工程2	工程3	保護層（別途工事）
ONE-61 塗布タイプ	プライマー	速硬化ハルエースコートONE	速硬化ハルエースコートONE	ハイツックG/ SPプロテクター
	0.2kg/㎡	2.6kg/㎡	2.5kg/㎡	0.2kg/㎡ —

工程	工程1	工程2	保護層（別途工事）
SPS-A40 吹付けタイプ （塗布可能）	プライマー	スプレイジョンS	ハイツックG/ SPプロテクター
	0.2kg/㎡	5.2kg/㎡	0.2kg/㎡ —

Y-2

工程	工程1	工程2	工程3	工程4	工程5	工程6
標準仕様	プライマー	ゴムアスファルト防水材 補強布張り	ゴムアスファルト防水材 塗り	ゴムアスファルト防水材 塗り	保護シート	保護モルタル又は 保護コンクリート
	0.2kg/㎡	1.5kg/㎡	1.5kg/㎡	1.5kg/㎡	—	—

工程	工程1	工程2	工程3	保護層
ONE-40	プライマー	速硬化ハルエースコートONE/ ハルPCマット	速硬化ハルエースコートONE	絶縁用シート
	0.2kg/㎡	2.0kg/㎡ —	1.3kg/㎡	保護モルタル又は 保護コンクリート
				別途工事

固形分の換算について

標準仕様書では、ゴムアスファルトの固形分は60%となっており、「固形分がこれ以外の場合は所要膜厚を確保するように使用量を換算する」とあります。塗布型の速硬化ハルエースコートONE、吹付け型のスプレイジョンSは固形分82%、スプレイジョンは固形分82%であり、上記試用量で同じ膜厚を確保することができます。※右記計算例にてご確認ください。

使用量計算方法

Y-1 : $7\text{kg}/\text{㎡} \times 60\% = 4.2\text{mm}$
 ONE-61 : $5.1\text{kg}/\text{㎡} \times 83\% = 4.2\text{mm}$
 SPS-A40 : $5.2\text{kg}/\text{㎡} \times 82\% = 4.2\text{mm}$
 Y-2 : $4.5\text{kg}/\text{㎡} \times 60\% = 2.7\text{mm}$
 ONE-40 : $3.3\text{kg}/\text{㎡} \times 84\% = 2.7\text{mm}$

※工程数及び工程の使用量は、主材料製造所の仕様による。（公共建築工事標準仕様書平成31年版）

ハルスターコート

屋上改修用 改質アスファルト系塗膜防水材料

既存防水層に直接密着させて施工が出来るオーバーレイ工法に適した防水材料です。
騒音・振動の発生が少なく、嫌な臭気を発生させない環境配慮型の塗膜防水材料です。



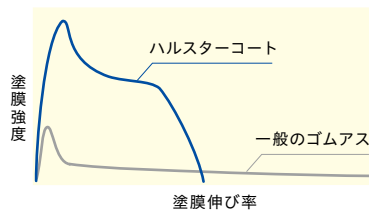
ハルスターコートの特長

- 1 既存防水層+新設防水層
=ダブルの防水機能
- 2 既存防水層を撤去しないで施工ができる為、
施工中の雨漏りの心配が少ない
- 3 撤去工事を行わない為、
騒音・振動・粉塵の発生が少ない
- 4 撤去に比べ工期が短縮
され廃材の発生も少なく
なり、コストが抑えられる
- 5 既存防水層との接着性
に優れている為、複雑な
納まり箇所や部分改修
も可能

※オーバーレイ工法であっても既存防水層に不具合がある場合は、撤去する必要があります。

塗膜の特性

	ハルスターコート	一般のゴムアスファルト
直後		
5分後		



「硬いと割れる」「軟らかいとべたつく、変形する、伸びすぎる」といった一般のゴムアスの性質を独自の架橋技術により、軟らかさを保ちながらべたつきを抑え、塗膜の復元性を付与させ露出防水材料として改善させました。

工法例

密着工法

	工程1	工程2	工程3	工程4	工程5
RS-30TS	ハルスタープライマー (シェイプメント) 0.2kg/㎡ (2.0kg/㎡)	ハルスターコート/ メンブロンクロス 1.3 kg/㎡ —	ハルスターコート 1.3 kg/㎡	JLCトップFS 0.4kg/㎡	JLCトップFS 0.4kg/㎡

絶縁工法

	工程1	工程2	工程3	工程4	工程5	工程6
RZ-30TS	平場	ハルスタープライマー (シェイプメント) 0.2kg/㎡ (2.0kg/㎡)	ハルシートZ	ハルスターコート/ メンブロンクロス 1.3 kg/㎡ —	ハルスターコート 1.3 kg/㎡	JLCトップFS 0.4kg/㎡
		—	—	—	—	—
	立上り	ハルスタープライマー (シェイプメント) 0.2kg/㎡ (2.0kg/㎡)	ハルスターコート/ メンブロンクロス 1.3 kg/㎡ —	ハルスターコート 1.3 kg/㎡	JLCトップFS 0.4kg/㎡	JLCトップFS 0.4kg/㎡
		—	—	—	—	—

※下地・施工環境により、プライマーを選定しご使用ください。 ※メンブロンクロスの重ね幅は50mm以上としてください。 ※ハルシートZの重ね幅は100mm以上としてください
※ハルシートZの端部・突付け部には、ハル粘着テープで処理してください。 ※出入隅・打ち継ぎ部には必要に応じて補強処理を行ってください。 ※立上りの既存防水層は状況に応じて撤去又は補修を行ってください。
※既存下地が断熱露出防水の場合はメーカーまで問い合わせください。

仕上材料

	JLCトップFS	JLCトップFS(遮熱色)	複層仕上げ(AT/ATS/ATV)	JLCトップF
主成分	アクリルエマルジョン系(骨材入)	アクリルエマルジョン系 (骨材入遮熱色)	ポリマーセメント系 塗膜防水材料(アクリル系)	アクリルエマルジョン系
荷姿	18kg/缶	18kg/缶	(主剤) AEコートAG 18kg / 缶 (硬化剤) AEコートB 18kg / 袋	15kg/缶
色	シルバグレー グリーン (受注生産)	パールグレー (受注生産) ライトグリーン (受注生産)	各種トップコート色	シルバグレー グリーン (受注生産)

仕様No.	TS(標準)	V(標準)	AT/ATS/ATV(推奨)	T
工程	① JLCトップFS 0.4kg/㎡	JLCトップFS(遮熱色) 0.4kg/㎡	AEコートAG/B 0.7kg / ㎡	JLCトップF 0.25kg/㎡
	② JLCトップFS 0.4kg/㎡	JLCトップFS(遮熱色) 0.4kg/㎡	JLCトップF/ FS/FS(遮熱色) 0.3/0.4/0.4kg/㎡	JLCトップF 0.25kg/㎡

公共建築工事
標準仕様(Y仕様)

ハルスターコート

AEコート

ポリマーセメント系塗膜防水

特殊アクリルエマルジョンと水硬性特殊粉体との組み合わせによるポリマーセメント系塗膜防水材です。特殊アクリルエマルジョンを使用することにより、耐水性・耐候性・耐アルカリ性に優れた防水層を形成し、水槽で使う際など保護が不要です。



AEコートの特長

現在の環境問題にも配慮し、多くのユーザーから安全性や優れた施工性を評価されている塗膜防水材

安全性



施工面での安全性

AEコートはエマルジョン系ですから毒性や引火性がなく、密閉場所でも安心して作業ができます。



環境面での安全性

AEコートは、室内空気汚染原因となる揮発性有機化合物の放出もなく、また水槽内水質への影響もないなど、環境に優しい製品です。

耐久性

架橋性特殊アクリルの効果により、耐水性、耐温水性、耐アルカリ性に優れた性能を発揮します。

密着性

モルタル、鉄板等の下地にもしっかり密着します。

施工性

液粉セットになっており調合が簡単で正確にできます。また混練後の可使用時間も長く、ハケ、コテによる手塗りや吹き付け施工など、施工時の作業性が良好です。

弾性

特殊アクリルエマルジョンの効果により弾性のある防水層を形成します。

工法例

工程	工程1	工程2	工程3	工程4	平均膜厚(mm)	指針(案)※
AE-10	プライマー	AEコートN配合	—	—	0.5	—
	0.2kg/㎡	1.0kg/㎡	—	—		
AE-P20	プライマー	AEコートN配合	AEコートN配合	—	0.8	PA-1
	0.2kg/㎡	0.8kg/㎡	0.8kg/㎡	—		
AE-P25	プライマー	AEコートN配合/ メンブロンクロス	AEコートN配合	—	1.1	PA-2
	0.2kg/㎡	1.2kg/㎡ —	1.0kg/㎡	—		
AE-P30	プライマー	AEコートN配合/ メンブロンクロス	AEコートN配合	AEコートN配合	1.6	PA-3
	0.2kg/㎡	1.2kg/㎡ —	1.0kg/㎡	1.0kg/㎡		
AE-P22	プライマー	AEコートS配合	AEコートS配合	—	1.1	PB-1
	0.2kg/㎡	1.2kg/㎡	1.2kg/㎡	—		
AE-FL 水平燃焼対応 UL94HB適合仕様	プライマー	AEコートN配合	AEコートN配合	—	—	—
	0.2kg/㎡	1.2kg/㎡	1.0kg/㎡	—		

※日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)の防水層の種類。

※下地・施工環境により、プライマーを選定しご使用ください。

※メンブロンクロスの重ね幅は50mm以上としてください。

材料標準配合

N配合(AE-90配合)

使用材料	固形分	配合比	全固形分	硬化塗膜比重
AEコートA(AG)	49%	18kg缶	74.5%	1.5
AEコートB	—	18kg袋		

S配合

使用材料	固形分	配合比	全固形分	硬化塗膜比重
AEコートSG	49%	18kg缶	78.1%	1.6
AEコートSB	—	24kg袋		

塗膜の色調



※印刷物のため現物と多少異なる場合があります。

・AE-90配合は、AEコートAがAEコートAGに替わります。

材料一覧表

分類	品名	性状	荷姿
改質アスファルト系 複合防水材	ハルeコート	ゴムアスファルトエマルジョン(主剤)	17kg/缶
	ハルeシート	ゴムアスファルト系シート	1m×20m/巻
	ハルeシート200	ゴムアスファルト系シート(カット品)	200mm×20m×4巻/箱
改質アスファルト系塗膜防水材	速硬化ハルエースコートONE	ゴムアスファルトエマルジョン(主剤)	17kg/缶
イソシアネート系硬化剤	ハル硬化剤B	ポリイソシアネート系化合物(標準硬化剤)	0.3kg×4缶/箱
	ハル硬化剤BQ	ポリイソシアネート系化合物(速硬化剤)	0.3kg×4缶/箱
	ハル硬化剤夏用	ポリイソシアネート系化合物(夏期用硬化剤)	0.3kg×4缶/箱
	速硬化ONE硬化剤	ポリイソシアネート系化合物(速硬化剤)	0.25kg×4缶/箱
改質アスファルト系 吹付け防水材	スプレイジョンSA	吹付け型ゴムアスファルトエマルジョン(主剤)	16kg/缶
	スプレイジョンSB	ポリイソシアネート系化合物硬化剤 (夏用、春秋用、冬用)	0.3kg×4缶/箱
	スプレイジョンSZ	ポリカルボン酸ソーダ	12kg/缶
導水用シート	SPベースシート	ポリオレフィンフィルム/ポリエステル不織布	1m×50m/巻
改質アスファルト系塗膜防水材 (屋上改修用)	ハルスターコート(A)	ゴムアスファルトエマルジョン(主剤)	17kg/缶
	ハルスターコート(B)標準タイプ	エポキシ樹脂化合物(標準硬化剤)	0.5kg×4缶/箱
	ハルスターコート(B)夏用タイプ	エポキシ樹脂化合物(夏用硬化剤)	0.5kg×4缶/箱
	ハルスターコート(B)冬用タイプ	エポキシ樹脂化合物(冬用硬化剤)	0.5kg×4缶/箱
ポリマーセメント系 塗膜防水材	AEコートA	アクリルエマルジョン 標準タイプ	18kg/缶
	AEコートAG	アクリルエマルジョン グレータイプ	18kg/缶
	AEコートSG	アクリルエマルジョン 水槽用タイプ	18kg/缶
	AEコートB	無機水硬性粉体 標準タイプ	18kg/袋
	AEコートSB	無機水硬性粉体 水槽用タイプ	24kg/袋
プライマー	ハルeプライマー	アクリルエマルジョン系	18kg/缶
	ハルスタープライマー	アクリルエマルジョン系	18kg/缶
	JLCプライマーA	アクリルエマルジョン系	18kg/缶
	ハル水性プライマー	アクリルエマルジョン系	5kg/缶
	水性エポプライマー	エポキシエマルジョン 2液混合型	8kg/セット
	特殊プライマーST	合成ゴム系・溶剤系	3kg/缶
	SLガードA	アクリルエマルジョン系	18kg/缶
補強布	ハルPCマット	ポリエステル不織布	1m×100m/巻
	メンブロンクロス	合成繊維メッシュ	1m×50m/巻
	メンブロンクロス200	合成繊維メッシュ(カット品)	200mm×50m×5巻/袋
改質アスファルト系シート	ハルシートS	砂付き粘着型ゴムアシート	1m×8m/巻
	ハルシートNR	砂付き改質アスファルトシート	1m×8m/巻
	ハルシートZ	ゴムアスファルト通気緩衝シート	1m×16m/巻
保護緩衝材	SPプロテクター#6	補強クロス付ポリエチレン発泡体 t=6mm	1m×25m/巻
副資材	ハルコート増粘剤S	ポリアクリル酸ナトリウム水溶液	5kg/缶
	ハイツックG	アクリルエマルジョン系接着剤	17kg/缶
	トマックスーパー	SBR系ラテックス	18kg/缶
	JLCトナーホワイト	無機質顔料ディスパージョン	2kg×4缶/箱
	シェイプメント主剤	改質アスファルトエマルジョン	17kg/缶
	シェイプメント硬化剤	無機水硬性粉体	18kg/袋
	ハル粘着テープ	ゴムアスファルト粘着シート	200mm×20m×6巻/箱
	ハル粘着テープ100	ゴムアスファルト粘着シート	100mm×20m×12巻/箱
	絶縁クロス	フラットヤーンクロス	1.32m×100m/巻
	ジョイントテープ	片面粘着層付きポリエステル不織布	50mm×100m×10巻/箱
トップコート	JLCトップF	アクリルエマルジョン系塗料 シルバーグレー・グリーン	15kg/缶
	JLCトップFS	アクリルエマルジョン系骨材入り塗料 シルバーグレー・グリーン	18kg/缶
	JLCトップFS遮熱色	アクリルエマルジョン系骨材入り塗料 パールグレー・ライトグリーン	18kg/缶
	JLCトップFシルバー	アクリルエマルジョン系シルバー塗料	15kg/缶
	ETトップ	エポキシ樹脂塗料 ブルー・グレー	25kg/セット

保管・運搬上の注意

⚠ 注意

1. 防水工法に使用する主剤および副資材は重量物ですので、荷扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取扱いは、缶・シートの傷つきだけでなく、傷害や器物破損などの事故を招く場合があります。
2. ハル硬化剤B及びBQ、速硬化ONE硬化剤、スプレイジョンSB夏用は危険物第四類第4石油類、ハル硬化剤夏用、ハルスターコート(B)標準・夏用・冬用、スプレイジョンSB夏用・春秋用は危険物第四類第3石油類、特殊プライマーSTは第四類第1石油類に該当します。保管にあたっては消防法の集積制限(第4石油類: 6000L、第3石油類: 2000L、第1石油類: 200L)が規定されておりますが、各市町村により条例が異なりますのでご確認ください。

お願い

1. 液体製品は、凍結させないように注意し、5~40℃で直射日光の当たらない室内に保管してください。開缶後の使用残は密封した状態で保管してください。施工現場でやむを得ず野積みする場合には、必ずシートを掛けてください。
2. ハルPCマット・メンブロンクロス・ハルeシート等の巻物およびAEコートB、シェイブメント硬化剤等の粉体は、雨、水に濡れない室内に保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は、防水シート等で完全に覆って、水に濡れないように注意してください。

施工上の注意

施工前にカタログ・SDS・施工要領書を必ずご一読ください。

缶、梱包ケース、袋に記載されている品名・色名・ロット・数量・使用方法・注意書き・SDS等をご確認の上、施工を開始してください。

⚠ 注意

1. 施工中および施工後塗膜が硬化するまでは、他業者による汚損、事故の発生を防ぐために、防水工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。立ち入り禁止の立て札を用意し、わかりやすい所に立ててください。
2. 使用済み缶類、残材シート等は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包紙・梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却してください。

お願い

1. 液体製品は使用前に攪拌機にて攪拌してください。
2. 下地が湿っている時、及び強風時には施工しないでください。また施工は5℃以上で行ってください。施工完了後は硬化・乾燥までに降雨・雪にあわないようにしてください。
3. 密閉室での施工時には換気・乾燥を良くするために、送風機を使用してください。高湿状態では除湿器も併用してください。
4. 水張りテストにあたっては、完全に防水層が硬化・乾燥していることを確認した後に実施してください。



イーテックYoutubeチャンネル



イーテック製品カタログ



本パンフレットに記載されている情報およびデータは信頼し得る試験法に基づいて測定したものです。実際に使用する前に十分な試験を行い、ご満足できる効果をご確認ください。なお、ご紹介の用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

材料・仕様は予告なく変更する場合がございます。

本社・四日市工場(工場、研究所)

〒510-0875 三重県四日市市大治田1-6-16

東日本防水材料グループ

〒105-0013 東京都港区浜松町1-10-14 住友東新橋ビル3号館

お問い合わせ TEL.03-6218-3842

西日本防水材料グループ

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-5-8 平野町センチュリービル

お問い合わせ TEL.050-6868-4885

